

西区DEアート プチ

～アートでつながれ 人と地域と僕らのキモチ～

『西区DEアート』は新潟市内野町と寺尾中央公園を中心とした西区において、住民と地域と大学のつながりを広めるために展開されてきたアートプロジェクトです。本プロジェクトは過去8年間に渡り、隔年で開催され、「うちのDEアート」から「西区DEアート」へと規模を拡大してきました。

参加者の思いや意識に寄り添いながら造り上げられたという今年度の「西区DEアートプチ(10月10日～19日)」に私たち新潟大学広報センター学生編集スタッフも参加してきました。ここでは取り上げきれないほどたくさんの面白い企画に大興奮!そのレポートをお届けします!

西区DEアート開催期間中はオブジェだけでなく、親子で参加できるワークショップも開催され、寺尾地区だけでも3つのワークショップがあり、これも多くの親子で賑わいました。大学と地域が密着でき大変素晴らしい企画だったと思います。
(馬場)



▲「バルーンイベント」『蛇トネル』の様子



◀オープン・ザ・カード：坂井輪中学校
カードを開くと、坂井輪中美術部の生徒たちがイメージした世界が飛び出す仕掛け。

この飛び出す絵の作品は自由に持ち上げた
いできるので、小さい子は特に楽しそうでした。どんなものが飛び出してくるのかわからないワクワク感があって、大人子供関係なく楽しめる素敵な作品だったと思います。(泉)



▲中学生シネマ：五十嵐中学校
コマ撮りのアニメーションはストーリー制作から絵コンテ、撮影、編集まで、五十嵐中美術部の生徒による個人的なものばかり!!

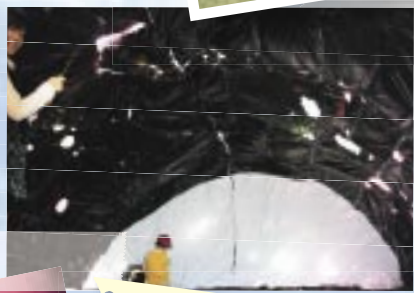


ちょっと休憩中。
「いただきます!」

西区DEアート
in 寺尾
寺尾中央公園では、「子どもたち主体の活動」をテーマに挙げ、小中学校で行われてきたワークショップによる作品が展示されました。子どもたちの発見や驚き、興味を引き出し、造形活動を楽しむ感覚を育むことを目的としています。



◀2008宇宙旅行：坂井東小学校
2、3年生が制作した宇宙とロケットのバルーンアートは、中に入ると同じものは一つもない星座が輝きます。



寺尾地区では、地域の小中学生が撮影、作成したコマ撮り映画の上映会や、和紙、再生紙を利用した風車、ビニールを繋ぎ合わせ作ったガラネタリウムのような作品が展示され、多くの人を魅了しました。(馬場)



▲ぐるぐるスタンドグラス：内野中学校
光が差し込むとキラキラ輝く、カラーセロハンのスタンドグラス。直径約2mの作品も!



遠くから見ても迫力があいます。
この中に入った子どもたちの笑顔は
とても楽しそうでした。(泉)



たまたま僕も
バルーンの中へ♪
いえーい!

◀かみさま降臨! : 笠木小学校
稲作をやっている3、4年生の
子ども達が考えた自然の神様。
巨大なバルーンと共に降臨!

▼プロジェクト風草花: 坂井輪
中学校・五十嵐中学校・二葉
中学校・小針小学校・新潟大
学附属中学校

普段は見えない「風」の存在
を、風車が映し出します。ミニ風
車づくりワークショップもひらか
れ、参加した子ども達は風車を
手に走り回っていました。

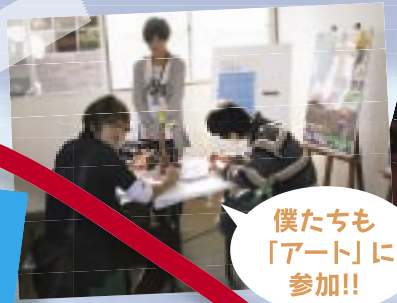


雲ひとつ無いほどの天気におも
れたこの日。寺尾中央公園には、子
どもと親が一緒にアートを楽し
める空間が広がっていました。ほく
も一緒に子供たちと楽しんじゃいま
したよ。ひゃっほーい!(百瀬)



西区DEアート in内野

内野町ではこれまでアートプロ
ジェクトにおいてアート作品の
設置をメインとしてきましたが、
今年度は内野町に住む
方からあがった声に寄
り添った企画が展開さ
れました。



僕たちも
「アート」に
参加!!



内野地区では、古民家を利用
したとうろうカフェが開かれま
した。落ち着いた和の雰囲気
が、値段も安価なので多くの
人が毎日訪れていました。(泉)

参加者は楽しそうにまちあるき
に参加していました。(泉)

「はい、
こっちで一す」



▲とうろうカフェ
「内野にこもる灯り」がテー
マの期間限定カフェは、内
野のお菓子屋さんや喫茶
店の方とのコラボ企画。か
つて新川で行われていた
「とうろう流し」を復活させ
たいという思いのもとでの
イベントとのことで、来
年が非常に楽しみ。

陶芸教室ではもくもくと作品づ
くりをする子供たちを見て、
楽しかった小学校の図画工作を
思い出しました。ほくは、とうろう
カフェに何時間でもいられると
確信しましたよ。嫌なことも忘れ
てしまいました(笑)。(百瀬)



◀Clay work
西区の海岸の砂を混ぜて
つくるうつわで「にしく焼」を
つくります。気軽に陶芸が
楽しめるということで毎回
恒例の人気あるワーク
ショップです。

西区DEアート・後日談



西区DEアート実行委員会 学生実行委員長

稲沢太希さん 教育学研究科1年

今回のアートプロジェクトは、内野町に住む方や小中学校の子どもたちの声に寄り添いながら造り上げるプロジェクトを目指しました。様々な方の協力のおかげで会期を無事終えた今思うことは、このプロジェクトの主役は、地域住民および子どもたち、そして来場者の皆さんなのだ、あらためて実感しています。そして、私達実行委員は様々な人や場を繋ぐ存在だったのだと、誇りに思っています。さらに、アートは敷居の高い物ではなく、生活に密着してこそ魅力を発揮するものだと思えることができました。来年は過去9年間築いたつながりや思いを土台に、新たな学びやつながりを生むプロジェクトを展開したいと考えています。皆さんもぜひアートプロジェクトに参加し、価値観や視野を広げてみませんか？

西区DEアート実行委員会 小中学校ワークショップ長

岡田京子さん 教育学研究科1年

子どもたちと共に約90時間を費やして8作品の完成に至りました。子どもたち自ら作品案を出したり子どもたちの様子や反応に順応した活動にしたり、長い時間をかけてきました。子どもたちが学生を待っていていたり想像以上の作品ができたりして、学生に感動や驚きを与える瞬間も多々ありました。制作を通して多くの時間を子どもたちと過ごし、学生(大学)と小中学校、子どもたちと連携してできた活動になったと思います。子どもたちがかっこよくて美術や工芸を好きになるような、また作品を見て楽しくなるような活動をこれからもしていきたいです。

西区DEアート実行委員会 内野ワークショップ長

北川拓未さん 教育学研究科1年

「西区DEアート」への参加は3回目となるのですが、このようなプロジェクトは何をするにしても地域の方の協力がなければ実現しないものだと思える度に思います。そして今回、企画の実施にあたり地域の方との交渉が非常にスムーズに進み、またボランティアの呼び掛けにも思っていたより多くの方に参加して頂いた事が印象的です。長年に渡る積み重ねの上にあるプロジェクト。今年の試みが来年度に向けての新たな積み重ねになっていると嬉しいです。

田村美咲さん

新潟大学広報センター学生編集スタッフ
教育人間科学部2年

今年の西区DEアートは、ワークショップといわれる、参加者が自ら参加・体験し進行役とともに作業することで学ぶ、双方向的な学習の場を中心に据えての展開でした。地域の方が大学生とのふれあいの機会として楽しんでいるのが印象的だったので、来年はより多くの学生にアート溢れる西区へ繰り出してもらいたいです！



ちょっと!? 自慢のキャンパススポット

自分の学部校舎にあるこんなものやあんなもの...。実は他の学部にはなくてちょっと自慢できるスポットがも??。各学部のスポットをちょっとだけ紹介します。



01



02



05



03



04



06

01. 人法経校舎・談話室

1Fの学務室の前にあります。かなり広いスペースで、かつ自動販売機で食べ物・飲み物も完備! ついつい長居してしまいます...

02. はまなす食堂

いわゆる「0(ゼロ)食」と呼ばれるはまなす食堂です。普段利用する1食や2食とは一味違った美味しさを楽しみたい人は、はまなすへ行くぞ!

03. 旭町キャンパス

五十嵐キャンパスにいる人はあまり馴染みがないかもしれませんが、こんな風に病院と校舎が並びあっています。いざという時は病気になるのも安心かも!

04. 理学部校舎

理学部の校舎は各階で使われている扉などの色が違います。写真はB棟の2階と3階。他学部と違って殺風景な感じがなくていいかなあ。

05. 理学部・サイエンスミュージアム

理学部内にあるちょっとした博物館スペース。標本サンプルの石がいっぱいあるよ☆

06. 農学部・野菜販売所

農学部校舎では学部で生産した野菜を販売するコーナーがあり、玉ねぎ、トマト、枝豆、ナス、スイカ、大根などが人気商品です。安く手に入るのだからかなりお得!!